

認定NPO法人 北海道自由が丘学園・ともに人間教育をすすめる会

(振込先:郵便局 02790-6-9847 北海道自由が丘学園をつくる会)

〒062-0051 札幌市豊平区月寒東1条15丁目5-11 TEL(011)858-1711 FAX(011)858-1333

URL <http://www.hokjioka.net>

E-mail : codmokan@agate.plala.or.jp

支援会員・寄金 3,000円 (年額)
*会員には、本誌を配布します。

〈「農業実習」:余市教育福祉村〉

野菜苗植えを小中学生全員の作業です。
～畝・水遣り・支柱立てなど頑張りました。
右は丘上の梨・栗の木と憩いのゾーン →



■■ INDEX ■■

P1: 巻頭言
P2: ヒューマントラスト/諸活動
p3: ↓ 年次会費納入、他
p4-5: スクール特別行事 6/25-26
p6: ↓ 初等部の1学期～行事含
p7: スタッフ～書籍感想(続き)
p8: エッセー、カレンダー、後記
[チラシ、案内他]

「あちら側とこちら側、非寛容を越えた教育へ」

NPO 法人まおい学びのさと・代表理事 細田孝哉

コロナ感染者への未感染者の態度について。一部とはいえ、まるで感染者がばい菌が穢れでもあるかのように振る舞う姿勢や、ネット炎上のような攻撃・いじめなど。ハンセン氏病に対する「日本人」の姿勢と同根のよう。「自分はこちら側だ」とマジョリティに安住したいがために、必死に「あちら側」を攻撃する。不安の裏返し。何かをきっかけにあちら側に行くとも限らないのに。

階層格差や教育格差が日本だけでなく先進他国でも拡大し、それがこのコロナ禍で炙り出されてきたように感じます。一方で、富の偏在が地球規模の課題解決をこじらせることがワクチン普及という面でも鮮明化しました。その中で、あちら側でもこちら側でもない世界をめざすべく、教育に関しても“人間らしい生き方・学び方”を求める動きが各地で胎動しています。

この数年来の私たちの学校づくりの運動は、ただただ、《子どもを中心に、体験的・協同的でのびのびした学びを実現させようとしている》ものですが、実は時代的な大きな動きの一つなのかもしれません。現地長沼町での幾度も説明会・子ども達体験会などを通じて、『まおい学びのさと小学校』開校を期待する保護者からの熱い視線と言葉に触れ、生来の知的好奇心や感情を豊かに育む教育を求める人が身近にも確実に増えていると実感しています。

道庁の認可という大きなハードルを越え、何としても2023年4月小学校開校を実現させようと「NPO 法人まおい学びのさと」は、入学希望拡大、寄附金積み上げ、申請書類整備など、今がんばっています。今後も可能なお力添えをお願いします。

[筆者は本認定 NPO 法人理事であり現職の高校教師です。昨年の認可申請/学事課段階での「不承認」を踏まえ、今秋の「再申請」が適うと、2年後には学校法人として開校となります]